

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間：2023年12月

結果公表日：2024年3月29日

## 回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%

保護者様： 36名回答、回答率 90%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

法令上の人員基準は満たしているものの、送迎の時間帯等によっては事業所内の職員数が限られてしまうことがあるため、送迎の調整や配置の工夫の更なる検討は必要である。配置については、死角がないように留意し、物の配置にも気を使っている。ただしバリアフリーの面ではエレベーターがあるもののやや急勾配な階段に手摺が設置されていない所に不安がある。現在は管理会社に相談している。

### ○業務改善

毎回業務前にミーティング時間を長く設定し、都度前回の反省点を共有し合い、改善を行っている。保護者様のご意見等もミーティング時に共有し、質の向上を目指すべく日々努力をしている。また、アンケート調査や自己評価の結果はニュースレター、ホームページを通しての公開を行っている。

### ○適切な支援の提供

日々1時間前後の全体ミーティングを行い、その内容を取り入れた上で複数の職員での協議を執り行い半年ごとのアセスメントの見直しを行っている。活動プログラムについても同様、全体ミーティングを通し、同じ内容、同じメンバーへの実施が重ならないよう留意している。支援後ミーティングは職員のシフトにばらつきがあるため翌日の支援前ミーティングに持ち越すことがあるが、職員間での振り返りは行われている。

### ○関係機関や保護者との連携

同系列の児童発達支援との相互連携を行い情報共有を密に行っている。保護者とも連絡帳や対面での家庭連携を行うことで、状況や課題についての共通理解をもてるよう十分な時間を取ることが出来ている。児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関との連携については改善の余地がある。

### ○保護者への説明責任等

毎月のニュースレターで前月の活動報告と来月の活動予定を報告し、また詳細については家庭連携の際等に伝達している。契約時、契約更新時に運営規定や支援の内容、利用者負担についての説明は十分に行えている。感染症予防の観点から、現在は保護者会を開いていないので、保護者同士の連携については不十分である。

### ○非常時等の対応

月一回の避難訓練は、地震・火災・水害・不審者等様々なケースを想定し実施している。虐待防止の教室研修を定期的実施している。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

- ・利用者の活動等のスペースに関して、「活動の状況をリアルに見たことが無いので判断できない」、「10人ほどが定員ならもっと広いと良い」との意見をいただいた。
- ・職員の配置に関して、「スタッフの異動が多い」との意見をいただいた。
- ・設備に関して、「入口からバリアあり。スロープ等記憶ない」、「施設内を詳しく見学できていない」との意見をいただいた。

### ○適切な支援の提供

- ・個別支援計画の作成や活動プログラムの工夫については9割の方から評価いただいた。
- ・放課後児童クラブや児童館との交流に関しては、「希望をしていない」との意見をいただいた。

### ○保護者への説明等

- ・保護者様との情報伝達や支援については、「いつもニーズに合わせて療育をして貰ってます」、「定期的に困ってる事を聞いてくれます」との意見をいただいた。
- ・利用者負担等の説明については、「質問しましたが現時点では回答が返ってきていない」との意見をいただき、改善が必要である。
- ・苦情があった場合の対応については、「苦情は伝えたことがないと思うが、他レスポンスは良い」、との意見をいただいた。

### ○非常時等の対応

- ・非常時の対応については、「避難訓練も定期的に活動に入れてくれます」との意見をいただいた。

### ○満足度

- ・「毎週、何をやるのか楽しみに行ってくれてて助かります」との意見をいただく等、多くの方から、子どもは通所を楽しみにしているとの評価をいただいた。
- ・「学校休日の送迎を9時便にしてのに10時15分お迎えで、帰りは早い順番な時があった」、「満足はしているが、欲を言えば課外活動等があると最高です」といこの意見をい「いつも明るく子どもに合わせて話してくれ話を広げるために調べてくれたりしてます」との意見もいただき、多くの方から事業所の支援に満足しているとの評価をいただいた。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・集団活動について個々のレベルや学年に合わせた内容を都度提供していく。
- ・家庭でも行える代替支援の実施を積極的に行っていく。
- ・感染対策を行い安心して通える教室作りを行う。

### ○改善できた点・まだ残る課題

- ・子どもたちの能力向上に適した取り組みを、同じ活動内で行うことができている。
  - ・空気清浄機の導入や定期的な空気の入替えを行い、消毒等にも気を使っている。
- 今後とも保護者の方たちとの相談の上、マスク着用等ベストな対策を模索していく。
- ・棚やロッカーを丈夫で安全なものに取替えた。利便性の向上および、ゴミのニオイ対策や虫よけ等にも十分な対策を行っている。バリアフリーの面に関しては、現在管理会社との交渉を行っている。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・ミーティングの中で、個別支援計画や活動プログラム、日々の支援について話し合い、改善を行う等、資質向上を目指すべく日々努力をしている。
- ・療育に関する問題提起や新たな発見があった場合、その日のうちに全体共有を行い対策を講じる事ができている。

### ○改善点

- ・保護者様と対面でお会いする機会が少ない場合、情報共有の頻度が低くなっている。定期的な電話でのやり取りを行う等、情報共有の方法を模索していく。
- ・事務所内の見学をする機会がないため、教室内スペースやバリアフリーの面での回答が出来ないという意見があった。日頃の報告で視覚的情報を共有する方法を模索していくとともに、教室内の環境整備を行っていく。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・保護者様との面談を通して、情報共有の方法について検討し、各ご家庭に合わせた情報共有を定期的に行っていく。
- ・保護者様や児童からの要望等を聞き取り、児童の実態に沿った娯楽を提供し、やる気とコミュニケーション能力向上のきっかけを増やす。また、個々の発達段階に応じた療育内容を検討し、提供する
- ・教室の壁や床の修繕、定期的な空調の清掃、手すりやスロープの設置の交渉を行い、より安心して通える教室作りを行っていく。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・対面でのやり取りが少ないご家庭に向けて、よりニーズにお答えできるよう定期的にお話をする機会を設ける。
- ・職員が行える範囲での修繕清掃を徹底し、安全かつ衛生的な環境を維持する。
- ・それぞれのご家庭に合った利用形態を提案、実行し、全体の満足度向上を目指す。
- ・児童向けの聞き取り調査を行い、児童の需要を常に把握できるようにする。